

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	健康都市推進事業			会計	款	項目	大	小
				01	02	01	08	22
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	企画政策課				
施策	4-5	地域で支える福祉のまちづくり	主管課長	田中 佳二				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	全市民、流山市全体	意図	保健・医療分野で個人ごとの健康推進を図ることはもとより、都市そのものを健康にすることで、そこに住む人々の健康で豊かな暮らしづくりを推進する。
事業内容	「都市そのものを健康にする」という健康都市の理念に基づき、健康都市事業を推進する。その結果、健康でいられる人が増加し、市民の健康増進が図られるとともに、流山市全体が住みやすいまちになる。また、WHO憲章に基づいて作成した健康都市プログラムの推進と進行管理を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	平成19年1月に市制施行40周年を記念しWHO憲章を尊重した『健康都市宣言』を行った。平成20年7月に『健康都市プログラム』を策定。平成26年度に同プログラムを見直し、新たな『健康都市プログラム』を策定。市制施行50周年を迎える平成28年度に流山市にて『第12回健康都市連合日本支部大会』を開催することが決定した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
①	心身ともに健康と感じている市民の割合	30.30	31.90	28.50	%	↑↑↑	まちづくり達成度アンケート「そう思う」の割合
	② 流山が住み心地の良いまちと思う市民の割合	78.80	79.30	77.20	%	↑↑↑	まちづくり達成度アンケート「そう思う」「どちらかといえばそう思う」人の
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・健康都市連合日本支部大会へ参加し、他の都市における健康施策の実態把握に努めている。
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,262,670	15,486,519	14,325,890			
事業費(b)(円)		284,490	3,394,019	1,148,390			
うち一般財源		284,490	3,394,019	1,148,390			
職員給与費(c)(円)		978,180	12,092,500	13,177,500			
人役・職員(人)		0.14	1.75	1.75			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	平成26年7月から平成27年7月まで日本支部長を務めるとともに、次年度開催都市として、関係機関・団体との調整などの準備を進めた。	③取組の課題	健康都市の推進について、広く市民に周知するとともに、日本支部大会などへの参加を通じて、各地の団体とも情報交換を行い、本市の取組みにも活かしていく。
②今年度(H27)に実施した取組	愛媛県八幡浜市で開催された健康都市連合日本支部大会に健康づくり推進員とともに参加し、流山大会に向けて情報収集等を行った。	④今後の改善計画	八幡浜大会を参考に、流山大会の成功に向けて取り組む。